

ピアホームだより

2016. 8. 10

花筏

休日は、家族で公園や植物園に出かけブラ散歩をしてくる。我が娘の生活にアクセントを添えるのに良いのではないかと始めて10年は経ったように思います。

相変わらず、桜しか解らないような態ですがそれでも植物の奥深さ＝自然の奥深さが少しずつ感じられるようになって来ました。傍にこんなに深遠な不思議があるのに関心を向けなければ何の感動も得られませんね！

7月の連休には茨城県牛久にある自然植物園に行ってきた。そこで不思議な植物に出会いました。花筏です。みずき科の植物で、春に、葉の真ん中あたりに花をつけ、夏に同じ場所に黒っぽい実をつける。葉の中央につく花を、「筏に人が乗った姿」に見立てたネーミングだそうです。花筏には別の意味もあり、桜の花が散って花びらが水に帯状に浮かんで流れるさ

まを「筏」に見立ててということばでもあるそうです。

少し興味が湧き「花筏」を調べてみました。

花とは桜、花筏というのは、俳句の季語になります。

この時期は、寒い冬より暖かい春へ移行する時期でもあります。またピンク色の桜の花が咲いて、とても美しい光景を見せてくれます。しかしその時期はとても短くなっています。その花が散った後の寂しさを補ってくれるのが、この花の筏になります。

この花筏の言葉については、かなり前から存在しています。それは室町時代までさかのぼる事ができます。その時代の文献に、この言葉が出ています。遠く室町時代から、この花の筏は認知されていた事になります。

そしてこの言葉の由来ですが、何と骨壺からきています。しかしそれを知ると、花の筏の美しい様の見方も変わってくるかもしれませんね。（ネット検索から）

ピアホームⅡから

ピアホームⅡでは、メンバーの皆さまが地域の中で独り立ちできるよう応援しています。基本的な生活習慣、食生活、服薬、金銭

管理の見守りおよびグループホーム滞在中に生じる困りごとと一緒に解決して行きます。

地域の中で暮らすにあたって、ゴミ出しルールは基本です。その他アパートの周りの清掃を週1回順番に行い、年に1-2度全員で草抜きします。

近所の方々とのおふれあいの手始めにグループホームの仲間同士の付き合いがスタートできればと、メンバーミーティングを計画してみました。1回目は6月24日金曜日に行いました。最初はごちなかったですが、この近くの食べ物屋さん紹介とか、100万円宝くじが当たったら何に使うかとかの話題にみなさん自分の意見を臆せず発表していました。

今後もミーティングを月に1回程度開いて、お互いの親密度を増していきたいと思っています。私たち世話人もメンバーさん同士の会話を通して、新しい発見があり楽しみにしています。

今月の予定

<8月30日>Uさんカンファレンス

1518 年の閑吟集とよばれる歌謡集です。